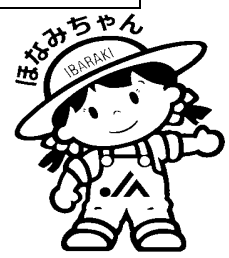
平成 28 年 9 月 13 日　第 2484 号

営農NEWS



ホウレンソウ栽培における主な病害虫の防除

ホウレンソウ栽培では、べと病やアブラムシ類、ホウレンソウケナガコナダニなどの茎葉病害虫や、土壌病害の萎凋病、立枯病、株腐病などが多発生して、著しい商品価値の低下や大きな減収を招くことがあります。

ホウレンソウべと病には抵抗性品種が導入されていますが、新レースが出現すると発病することから、発病に適した比較的低温で多湿な条件が続く時には、薬剤防除も組み入れることが必要です。

土壌病害の萎凋病、立枯病、株腐病は、比較的高温期または高温期の作型で多発生する傾向がみられます。このため、発病前歴のある圃場では、播種前に必ず土壌消毒を行う必要があります。

アブラムシ類は、春季や秋季が比較的温暖に経過した場合に、侵入や寄生が多くなります。新芽や芯葉に寄生すると、展開葉の奇形や萎縮をおこし、また、吸汁被害部にすす病が発生して葉が黒く汚れるなど、商品価値を失くしてしまいます。さらに、アブラムシ類は、モザイク病のウイルスを媒介しますので、発生には十分注意が必要です。

アザミウマ類が芯葉に寄生すると、新芽が萎縮して奇形となり、また、ホウレンソウケナガコナダニなどコナダニ類が芯葉に寄生すると、加害部に小さな穴があき、生育とともに展開葉がコブ状の小突起を生じて萎縮や奇形となり、いずれも商品価値を低下させます。また、ハスモンヨトウなどチョウ目害虫も食害で、著しい被害となります。

このため、これら病害虫の発生には常に十分注意し、早期発見と予防や早期の薬剤防除に心がけてください。

【防除のポイント】

1　べと病は、比較的低温（8～18℃）で多湿な条件が続くと発生しやすくなるため、このような天候の時には予防散布を心がけてください。なお、厚播きや軟弱徒長、排水不良の圃場は、発生を助長しますので、特に注意が必要です。

2　アブラムシ類は、施設やトンネルの開口部を防虫ネットで被覆すると有効です。また、黄色粘着シートを設置して誘殺したり、薬剤防除適期の参考にします。さらに、ハウス内や周辺の雑草は、アブラムシ類の飛来源、ウイルスの保毒源となる可能性があるため適切に除草し、常に圃場衛生に努めましょう。

3　コナダニ類は、前作の被害残渣や施用した未分解有機物などが発生源となるため、これらの処理を適切に行うことが重要です。なお、本葉 2～4 葉期頃の加害により奇形を生じますので、発生を認めたら早めに防除を行いましょう。

4　薬剤防除に際しては、下記を参考に行ってください。なお、耐性菌や抵抗性害虫の出現を回避するため、同系統薬剤の連続散布を避けて、ローテーション防除に努めましょう。

表１　ホウレンソウ　べと病の主な防除薬剤（平成 28 年 9 月 12 日現在）

薬　剤　名	希釈倍率	使用時期　／　使用回数
アリエッティ水和剤	1,500 倍	収穫前日まで／ 2 回以内
フェスティバル水和剤	2,000 倍	収穫前日まで／ 3 回以内
ランマンフロアブル	2,000 倍	収穫 3 日前まで／ 3 回以内
レーバスフロアブル	2,000 倍	収穫 3 日前まで／ 2 回以内

表２　ホウレンソウ　主要害虫の主な防除薬剤（平成 28 年 9 月 12 日現在）

薬　剤　名	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	ｱｻﾞﾐｳﾏ類	ﾎｳﾚﾝｿｳｹﾅｶﾞｺﾅﾀﾞﾆ	ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ	希釈倍率または施用量	使用時期／使用回数
スタークル粒剤※	○				6 kg／10ａ播溝土壌混和	播種時／1 回
ネマモール粒剤 30			○ｺﾅﾀﾞﾆ類		30 kg／10ａ全面土壌混和	播種前まで／1 回
アドマイヤーフロアブル※	○	○			4,000 倍	収穫前日まで／2 回以内
アクタラ顆粒水溶剤※	○				2,000 倍	収穫 3 日前まで／2 回以内
スミチオン乳剤	○				1,000～ 2,000 倍	収穫 21 日前まで／2 回以内
			○		2,000 倍	
アグロスリン乳剤	○				2,000 倍	収穫 21 日前まで／5 回以内
		○ﾐﾅﾐ			1,000 倍	
スピノエース顆粒水和剤		○			5,000 倍	収穫前日まで／2 回以内
アファーム乳剤			○	○	2,000 倍	収穫 3 日前まで／2 回以内
カスケード乳剤			○	○	4,000 倍	収穫 3 日前まで／3 回以内
パダンＳＧ水溶剤		○ﾐﾅﾐ			1,500 倍	収穫 7 日前まで／2 回以内
ディアナＳＣ				○	2,500～5,000 倍	収穫前日まで／2 回以内

注)1　※印の薬剤はネオニコチノイド系です。同系統薬剤の連続使用は、避けてください。

2　対象害虫の ○ミナミはミナミキイロアザミウマで、○コナダニ類はコナダニ類での農薬登録です。

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

※ＪＡ全農いばらきホームページでもご覧になれます。

全農　JA全農いばらき
生産資材部　営農企画課
電話：029-291-1012　FAX：029-291-1040